



PSP

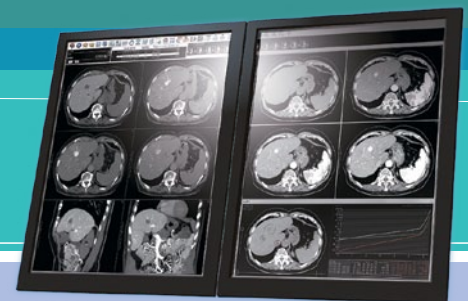
https://www.psp.co.jp/info_item2019.html

theme

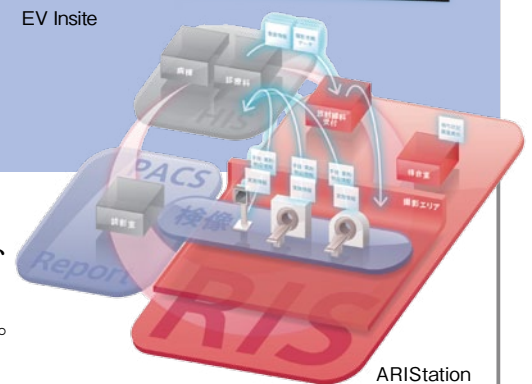
Working for better health care

[主な展示製品]

- PACS
「EV Insite net」
- 読影用ビューアーソフトウェア
「EV Insite R」
- レポート作成ソフトウェア
「EV Report」
- 症例ファイル管理システム
「EV Palette」
- 放射線業務管理システム
「ARISation」
- 医療被ばく線量管理システム
「iSED」
- 放射線治療管理システム
「ARISation RT」
- クラウド型サービス
「CirA-S」



EV Insite



ARISation

PSPは1989年の創立以来、臨床医療に携わる医療スタッフをサポートしたい、患者や病院の役に立ちたい、地域医療連携を支えたいという思いのもと、システムを開発・提供し、30周年を迎えた。ITEM2019では進化を続ける既存システムに加えて、VNA・AIといった新しい取り組みも展示する。

◆PACS /ビューアー 「EV Insite」シリーズ

PACS「EV Insite」は、院内の画像管理の中心として活用されている。仮想化、クラウドなどの活用や、複数サーバーの統合管理、遠隔読影など、施設の運用に合わせたシステム構築、ソリューション提案を行っている。

画像ビューアー「EV Insite R」は、利用者ごとのカスタマイズ性に富んでおり、使い勝手の良さへの評価が高い。また、画像診断に加え、教育や研究用途でも効果的に利用可能。画像のエクスポートや匿名化により、容易に症例データを二次活用できる。ブースでは現場からのニーズを取り入れた最新のバージョンを展示。近年、問題意識が高まっているレポートの未読管理についても事例を紹介する。

4月13日(土)には、PACSの活用法に関するランチョンセミナーを共催する。

◆診断RIS

「ARISation」シリーズ

診断RIS「ARISation」は、放射線

検査の業務システムとして活用されている。診療放射線技師の業務フローに沿って、ふさわしいレイアウトで情報を表示するなど、質の高い検査の実施に貢献すべくシステムを開発。ポータブル撮影用のタブレット端末対応、時間外の患者による検査受付といった施設の要望に合わせたオプションも取り揃えている。医療被ばく線量管理システム「iSED」は、電子的に医療被ばくの線量情報を記録・管理できるシステムであり必要性が高まっている。